

桜丘学区まちづくり推進委員会

委員長 藤井 政明

(問合せ先) 084-924-2584 (桜丘交流館)

事業内容

- (1) 地域福祉事業 ①グラウンド・ゴルフ大会(3月1日) ②料理教室(5月11日、12月7日)
③おこまりサポート(週1土曜日) ④ふれあい交流事業(5月11日、12月7日)
- (2) 安心・安全事業 ①自主防災訓練(6月22日、11月23日) ②地域安全パトロール(平日15時~16時)
③安心安全啓発活動(8月22日) ④啓発用幟旗の設置(通年)
- (3) 地域活性化事業 ①夏送りのタベ(8月23日) ②しめ縄づくり(12月21日)
③ミニ門松づくり(12月21日) ④門松づくり(12月21日)
⑤竹あかり(12月) ⑥とんど制作(11月2日~12月27日)
⑦とんど展示(12月27日~1月10日、1月11日) ⑧とんど祭り(1月12日)
- (4) 環境づくり事業 ①花壇整備(1月31日、2月1日、2月7日) ②環境づくり活動(年4回)
③ばらの育て方講習会(2月15日)
- (5) 健康づくり事業 ①桜丘大運動会(5月25日) ②子ども交流会(9月14日)
③健康ウォーキング大会(11月2日)
- (6) コミュニティ育成事業 各自治会(通年)
- (7) まちづくり推進委員会運営事業 (通年)



学区とんど祭り



子ども交流会



自主防災訓練

成果

子ども交流会は毎年定着し、チームを1年生から6年生の各学年編成にしたので学年を超えたふれあい交流ができた。また、新しい競技を2つ取り入れたことで児童たちの意欲も高まり、楽しく競技に取り組みことができ、スタッフとして参加した各団体役員や保護者同士の連携と親睦も図られた。

課題

役員の高齢化、また事業に協力してもらう方の高齢化が進んできている。

特に、夏に開催の事業では年々暑さが厳しくなり準備、撤収に若い世代の協力が必要。

課題解決にむけて

各自治会や子ども会に呼び掛け、若い世代の事業参加を促す。

地域で 見守り

～ふれあい交流事業～

地域で75歳以上独り暮らしの方、また高齢夫婦だけで暮らしておられる方を対象者に福祉を高める会、ボランティアの会が中心になってお弁当を作り、各自治会の方がお弁当を持って見守りを兼ねて、高齢者とのふれあい交流を行っている。

学区自主防災会の防災担当が「カプセルの中に避難行動要支援者の個人情報を入力した紙が入っているので、変更事項があれば書き換えをお願いします」と配食担当者に説明。

対象者を訪問時には訪問確認票(訪問時間、名前、年齢、体調等)に配食担当者が記入したものを防災担当で集計等を行い、地域の75歳以上独り暮らしの方の把握に繋げている。

地域の方が訪問されると、声掛けしてもらおうのを心待ちにされている方が多くおられ、また「お弁当がとっても美味しかった」との好評もあり、今後もこの事業は継続して行っていきたい。



多くのボランティアの方が作ってくれます



12月はおせち風のおかずとご飯を準備中です



メッセージカードと折り紙を添えて・・・



お弁当を詰めた箱は各自治会ごとに分けて出発します

